

《幼稚園教育要領解説書・保育所保育指針解説書で使用している用語》

項目	幼稚園教育要領解説書	保育所保育指針解説書	共通カリキュラム
保育・教育	「教育」＝「保育」 ほぼ同義に使用	「保育」 ＝「養護」と「教育」を一体 として行う	「保育」 ※保育は、「養護」を基盤として 「教育」が営まれるものと捉え、 カリキュラム・コラムでは「保育」 とする。但し根拠法が違うため、 説明文等では子ども・子育て支援 法に基づき「幼児教育・保育」と 記載。
先生	「教師」	「保育士等」 「保育者」	「保育者」 「ねらい」「内容」など、子 どもが主語の文では「先生」
子ども	「幼児」	「子ども」	「子ども」
学級・クラス	「学級」	「集団生活」等	「クラス」
〇歳児	「学年」「〇歳児」 「年長児・年少児」	「〇歳児」	「〇歳児」
遊び	「遊び」	「遊び」	「遊び」
からだ	「体」	「身体」	「体」
友達	「友達」	「友達」	「友達」
かかわり	「かかわり」	「関わり」	「かかわり」
一人ひとり	「一人一人」	「一人一人」	「一人一人」
トラブル	「いざこざ」「自己主張のぶつ かり合いによる葛藤」	「けんかなど葛藤」「ぶつかり 合い」「トラブルやけんか」	場面によってふさわしい文言 を使う（両方可）
よさ・よいこと	「よさ」「よいこと」	「良さ」「良いこと」	「よさ」「よいこと」
決まり	「きまり」	「決まり」	「きまり」
やりとげる	「やり遂げる」	「やり遂げる」	「やり遂げる」
もつ	「もつ」	「持つ」	「持つ」
描いたり、作っ たり	「かいたり、つくったり」「つ くる」	「かいたり、つくったり」「作 る」	「かいたり、つくったり」「つ くる」
気付く	「気付く」	「気付く」	「気付く」
まわり	「身の回り」 「周りの様子」	「身の回り」	「身の回り」 「周りの様子」
仲良し	「仲の良い友達」	「仲良しの友達」 「仲の良い友達」	「仲の良い」 「仲良く」
など 等	「〇〇など」	「〇〇など」「保育士等」	「〇〇など」
傍 側	「そば」	「そば」	「そば」
出来る	「できる」	「できる」	「できる」
やりたい したい	内容では「したい」 文章には「やりたい」もある	内容では「したい」 文章には「やりたい」もある	内容では「したい」 文章には「やりたい」も可

《保育で使う言葉のイメージの違い》

項目	幼稚園	保育園	
つもり	「イメージ」「見立てる」 「見通し」「こだわり」「思い」 「つもり」など	「つもり」	※ どのような意味で使っ ているのかが、伝わるよ うに意識して記述
気持ち	感情だけでなく、自分の考え や意見なども含む。	「嬉しい」「悲しい」などの感 情。	